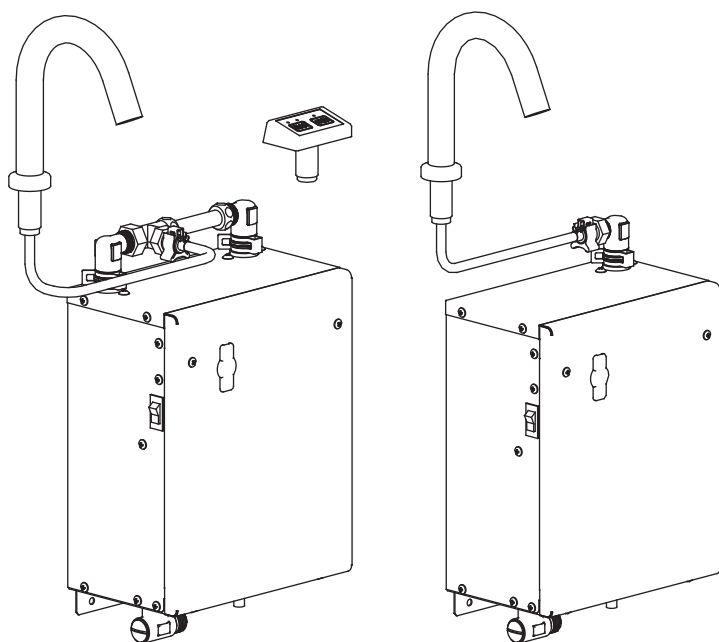
Takara standard

小型電気温水器
取扱説明書

保証書付

元止め式、自動水せん一体型、壁掛け型
適温出湯タイプ（屋内設置専用）

品番	
EH-03JY	EH-03JT

もくじ

ご使用の前に

ご使用方法

メンテナンス

こんなときは

このたびは、タカラスタンダード　小型電気温水器 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

◆ご使用前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
　特に、「安全上のご注意」については、ご使用前に必ずお読みいただき安全にお使いください。

◆この取扱説明書は、工事説明書、付属品とともに、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

◆この取扱説明書は保証書付です。販売店からお受け取りになる際に、保証書に販売店名、お買い上げ日などが
　記入されていることを、必ずお確かめください。

安全上のご注意 必ずお守りください

■ここに示した注意事項は、 守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。
安全に関する重要な内容ですので、 必ず守ってください。
■お読みになった後は、 お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容。		誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容。

■お守りいただく内容の種類を、 次の表示で区分し、 説明しています。

	禁止行為(してはいけないこと) 絶対に行わないでください。		**行為の指示(必ずすること)** 必ず指示に従い行ってください。

警告

電気温水器本体

アース線接続

アース工事 (D 種接地工事) されているか確認すること
故障や漏電の時に感電の原因になります。 アースの取り付けは販売店にご相談してください。

禁止

電源コードを傷つけたり、 破損したり、 加工したり、 無理に曲げたり、 引張ったり、 重いものを載せたり、 挟み込んだりしないこと
電源コードが破損し、 火災、 感電の原因になります。

禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、 コンセントの差し込みがゆるいときは、 使用しないこと
感電、 ショート、 発火の原因になります。

禁止

電源プラグは、 濡れた手で抜き差ししないこと
感電の原因になります。

禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしないこと
火災の原因になります。

禁止

カバー・点検窓を開けないこと
感電の原因になります。

禁止

温水器の近くにガス類や引火物を置かないこと
発火の原因になります。

禁止

温水器に水をかけないこと
感電、 故障の原因になります。

禁止

吐水口をふさいだり、 吐水口に浄水器やホースをつないだりしないこと
故障、 漏水の原因になります。

禁止

絶対に分解・修理・改造しないこと
火災、 感電、 けがの原因になります。
修理は販売店にご相談ください。

必ず実行

異常・故障時には、 直ちに使用を中止すること
発煙、 発火、 感電、 やけどの原因になります。
次のようなことがある場合は、 すぐに使用を中止し、 故障や事故防止のため、 販売店 (据付工事店) または修理受付フリーダイヤルに点検・修理 (有料) をご相談してください。
・使用中にこげくさい臭いがしたり、 異常な音や振動がする。
・設置場所が濡れている。
・お湯がぬるい。
・漏電しゃ断器が動作する。
・その他の異常・故障がある。

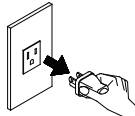
裏表紙 アフターサービス

⚠警告

電気温水器本体（つづき）

必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って、引き抜くこと

感電、ショート、発火の原因になります。

必ず実行

電源は、定格15A以上の交流100V専用コンセント(接地極付)を使用すること

火災、感電の原因になります。

必ず実行

分電盤等に、漏電しゃ断器、温水器専用の電源ブレーカーが取り付けられているか確認すること

感電、火災の原因になります。

必ず実行

お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと

感電の原因になります。

必ず実行

1か月に1回程度、電源プラグの刃などについたホコリを取り除くこと

火災の原因になります。

➡ P11 日常のお手入れ

必ず実行

排水は、必ずお湯を使い切ってから行うこと

やけどの原因になります。

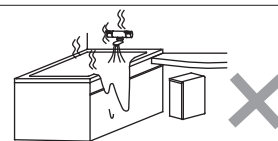
必ず実行

専用の自動水せんと組み合わせて使用すること

故障、水漏れの原因になります。

必ず実行

屋外や表面に結露が生じるような湿気の多い場所、水がかかる場所、特に浴室やシャワールームに取り付けられていないか確認すること

感電、誤動作の原因になります。

給湯

禁止

給湯時は、熱湯に触れないこと

やけどの原因になります。

⚠注意

電気温水器本体

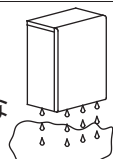
禁止

この機器は、車両、船舶での使用はできません

機器が故障し、感電、水漏れの原因になります。

禁止

機器に乗ったり、濡れたものや洗剤などを乗せたり、配管に力を加えたりしないこと

故障、事故、やけど、水漏れの原因になります。

必ず実行

水道水を使用していることを確認すること

必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
井戸水、地下水、温泉水は、使用できません。水道水であっても塩分、石灰分、その他不純物が多く含まれている水質や酸性水質での使用は避けてください。
機器のつまりや腐食など、故障の原因になります。

必ず実行

1か月以上使用しないときは、必ず、運転スイッチを「OFF(切)」にして、電源プラグをコンセントから抜き、温水器の水を確実に抜くこと

絶縁劣化による感電や漏電、火災の原因になります。水質が変化することがあります。

➡ P15 使用しないときは

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠注意

電気温水器本体（つづき）

必ず実行

タンクを満水にしてから運転スイッチを入れること

過熱し、故障の原因になります。

➡ P8 ご使用前の準備

必ず実行

落雷の可能性がある場合は、あらかじめ電源プラグをコンセントから抜いておくこと

故障の原因になります。

必ず実行

温水器、水栓周辺の温度が氷点下にならないこと

凍結するとタンクや配管が破裂して、やけどや水漏れの原因になります。

必ず実行

水漏れがないか点検すること

水漏れが起きた場合、階下などに被害を及ぼすおそれがあり、大きな被害につながることがあります。

必ず実行

出湯（水）量が少なくなったら止水栓、給水口のフィルターの点検・清掃を行うこと

フィルターが詰まると、湯の量が減少したり、故障の原因になります。

➡ P12 日常のお手入れ

必ず実行

フィルターの清掃をする際は、止水栓を閉めてから行うこと

水漏れが起き、階下などに被害をおよぼすおそれがあり、大きな被害につながることがあります。

給湯

禁止

温水器のお湯およびお湯が混ざった水は、そのまま飲用しないこと

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管の劣化などにより水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記のことに注意し、必ず一度やかんなどで沸騰させてください。

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに販売店（据付工事店）へ点検の依頼を行ってください。

必ず実行

吐水口（吐水口金具）がゆるんでいないか確認する

故障、事故の原因になります。

ご使用にあたってのお願い

●お湯を上手に使うこと

一度に使用できるお湯の量には限りがあります。
お湯は出し放しにしないでこまめに止めましょう。

●温水器の給水配管止水せんがどこにあるか確認すること

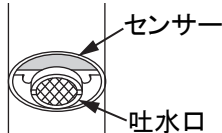
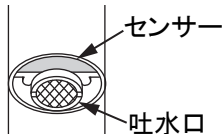
- 温水器の水抜き、万一の水漏れ、故障の際に閉じると水が止まります。
- ふだん温水器を使用しているときは、開いておきます。

●センサー面を傷つけないようにすること

水せん（吐水口）が破損するおそれがあります。

各部の名称と働き

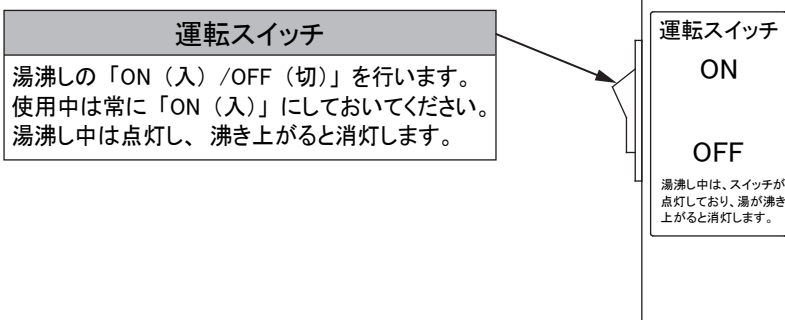
本体

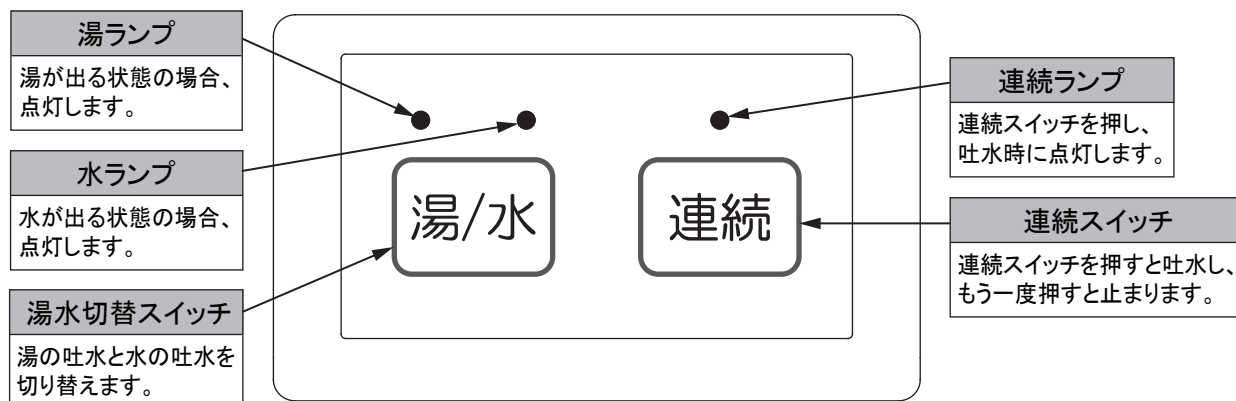
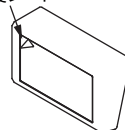
EH-03JY
吐水部
センサー部に手を近づけると
吐水口から湯または水が
出ます。
センサー
吐水口
運転スイッチ
温水器の沸上げ運転の
「ON（入）」、「OFF（切）」
を設定します。
（詳しくは 6 ページ参照）
定格表示シール
製品名、品番、製造番号が
記載されています。
電源プラグ（接地極付）
専用コンセントに接続します。
操作部
湯と水の切替、手動での
吐水を操作します。
（詳しくは 6 ページ参照）
点検窓
工事の時に使用します。
絶対に開けないでください。
安全上の注意シール
必ずお読みください。
排水せん
温水器の水を抜くときに操作
します。
EH-03JT
吐水部
センサー部に手を近づけると
吐水口から湯または水が
出ます。
センサー
吐水口
運転スイッチ
温水器の沸上げ運転の
「ON（入）」、「OFF（切）」
を設定します。
（詳しくは 6 ページ参照）
定格表示シール
製品名、品番、製造番号が
記載されています。
電源プラグ（接地極付）
専用コンセントに接続します。
点検窓
工事の時に使用します。
絶対に開けないでください。
安全上の注意シール
必ずお読みください。
排水せん
温水器の水を抜くときに操作
します。

各部の名称と働き

運転スイッチ

運転スイッチ

湯沸しの「ON（入）/OFF（切）」を行います。
使用中は常に「ON（入）」にしておいてください。
湯沸し中は点灯し、沸き上がると消灯します。

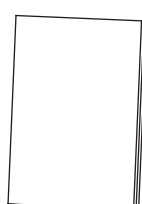
運転スイッチ
ON
OFF
湯沸し中は、スイッチが点灯しており、湯が沸き上がると消灯します。

【お知らせ】
○運転スイッチを「OFF（切）」にしても、温水器に電源が供給されている場合、自動水せんが動作するための電力を消費します（水せんに手を近づけると湯(水)が出ます）。

操作部（EH-03JY のみ）

※湯ランプが点灯していても運転スイッチが OFF（切）の場合やタンクが湯沸し中の場合等は水が出ます。

付属部品

温水器に付属されている部品です。
すべて揃っているか確認してください。

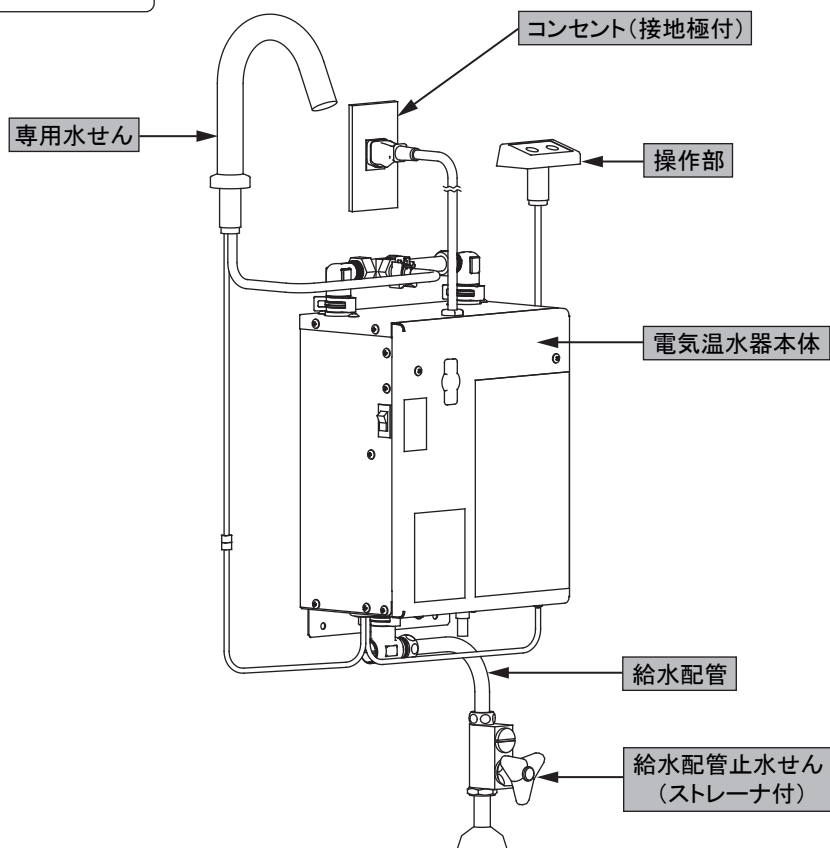
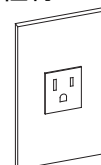
・排水用ビニールホース
（φ9、250mm）1 本

・取扱説明書
1 部

・工事説明書
1 部

本体据付図例

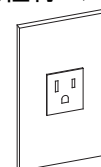
標準配管例
設置場所などにより、配管が異なる場合があります。

EH−03JY

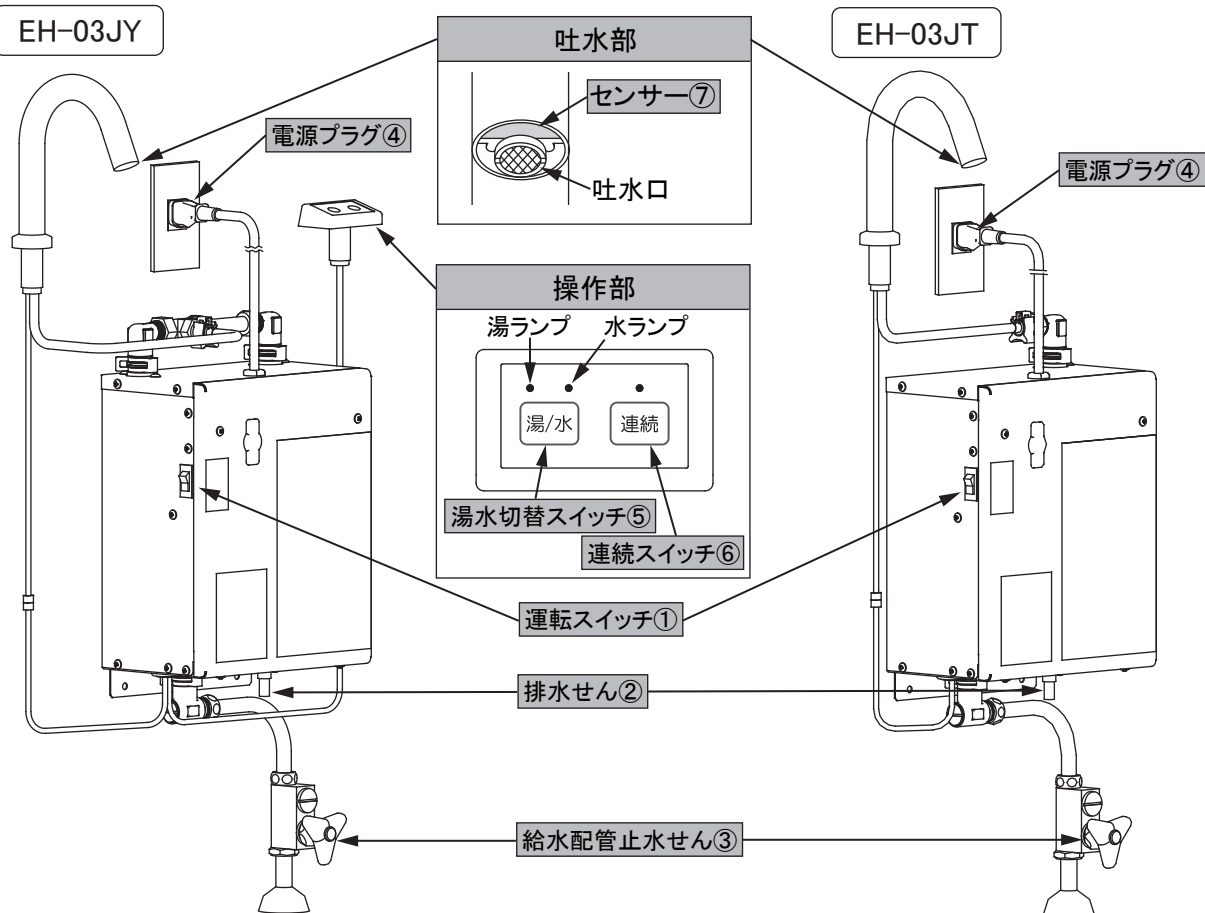
⚠警告

接地極のないコンセントには接続できません。故障や漏電の時に感電の原因になります。

・接地極付コンセント例

EH−03JT

⚠警告

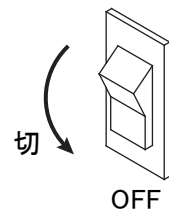
接地極のないコンセントには接続できません。故障や漏電の時に感電の原因になります。

・接地極付コンセント例

ご使用前の準備

温水器の使い始めや、 水抜き後に温水器を使い始める場合は、 次の手順で操作してください。
方法がわからないときは、 据付工事店（販売店）へご相談ください。

はじめに

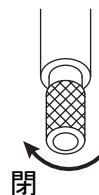
1. 感電防止のために、アース工事（接地極付コンセントの使用）がされていることを確認してください。
2. **運転スイッチ①**が「OFF（切）」になっていることを確認してください。

⚠ 注意

温水器の満水を確認するまでは、 絶対に運転スイッチを入れないでください。
過熱し故障の原因となります。

1 給水の準備をします。

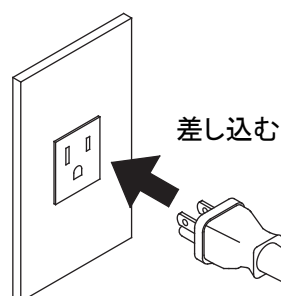
1. **排水せん②**を閉めます。（排水後などですでに閉じている場合があります。）
2. **給水配管止水せん③**を開きます。

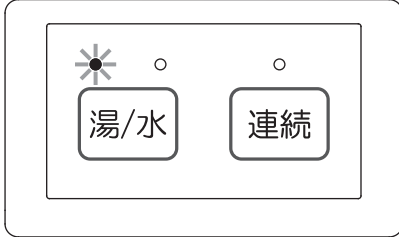
⚠ 注意

排水せんが開いていると、 給水時にそこから水が出てきます。 確実に閉じてください。

2 電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源プラグ④は温水器専用の 15A 以上のコンセントに
根元まで確実に差し込みます。

⚠ 注意

電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていないと、
火災や感電の原因になります。

温水器を満水にします。

1.（EH-03JY の場合）湯ランプが点灯した状態（**湯水切替スイッチ⑤**を押すごとに湯ランプと水ランプが交互に点灯します。）で、**連続スイッチ⑥**を押します。吐水口より連続的に水が出ればタンクは満水です。吐水は 1 分間で自動的に止水します。満水になるまで 1 分毎に**連続スイッチ⑥**を押してください。

（EH-03JT の場合）連続して吐水するまで、吐水部にある**センサー⑦**の下に、手を近づけてください。
（手を近づけた状態でも 1 分間吐水状態が続くと自動的に止水します。一旦手をはなして、再び手を近づけてください。）吐水口より連続的に水が出ればタンクは満水です。

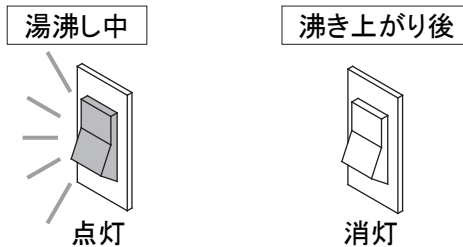
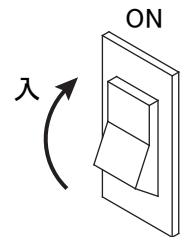
2. 温水器や配管からの水漏れがないか確認してください。

【お知らせ】
○温水器が空の状態から、満水になるまで 1 ～ 2 分程度です。
○給水中に吐水口から水と空気が混ざりボコボコと音がすることがありますが、異常ではありません。水が連続して出るまでお待ちください。

運転（湯沸し）のしかた

運転スイッチを「ON（入）」にします。

約 75℃になるまで湯沸しを行います。（湯沸し温度は沸き上がり直後のタンク内の温度です。沸き上がり温度は約 1 ～ 5℃ばらつくことがあります。）
湯沸し中は運転スイッチが点灯し、お湯が沸き上がると自動で消灯します。
タンク内の湯温が下がると再び湯沸しを開始します。

沸き上がり後

●沸き上がる時間の目安

タンク内温度 （タンク全量が給水温度の時）	5℃（冬期）	15℃	25℃（夏期）
沸き上がる時間の目安	約 23 分	約 20 分	約 17 分

●使える湯量の目安（温水器からの給湯温度は約 36℃です。）

タンク内温度 （タンク全量が沸き上がっている時）	75℃		
給水温度	5℃（冬期）	15℃	25℃（夏期）
使える湯量の目安	約 6L	約 7.5L	約 12L

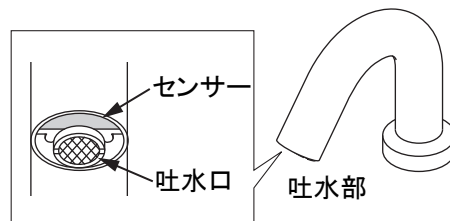
ご注意

■吐水口から湯がポトポト滴下することがありますが故障ではありません。
タンク内の水が沸き上がると止まります。

給湯のしかた

温水器からの給湯温度は約 36℃です。
※給湯温度の調節はできません。 給湯温度は、 環境およびタンク内の温度によって多少上下することがあります。

1 センサーの下へ手をかざしてください。

センサーが感知して自動的に吐水口より湯（水）が出ます。

2 センサーの下から手をはなしてください。

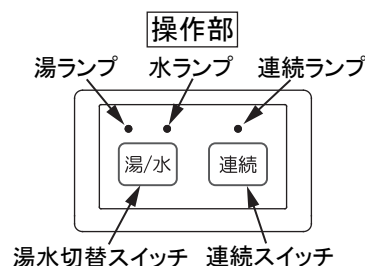
自動的に湯（水）が止まります。

【お知らせ】
○手をかざしたままでも約 1 分経過すると自動的に止まります。
さらに湯（水）を出したい場合は、 一度手をはなし再度かざしてください。

ご注意
■センサーの前に障害物を置かないでください。誤作動の原因になります。

操作部を使用した場合（EH−03JYのみ）

1 連続スイッチを押してください。

連続ランプが点灯し、 吐水口より湯（水）が出ます。

2 もう一度、 連続スイッチを押してください。

連続ランプが消灯し、 湯（水）が止まります。

【お知らせ】
○連続スイッチを押してから約 1 分経過すると自動的に止まります。
さらに湯（水）を出したい場合は、 再度連続スイッチを押してください。

湯と水の切替（EH−03JYのみ）

湯水切替スイッチを押してください。

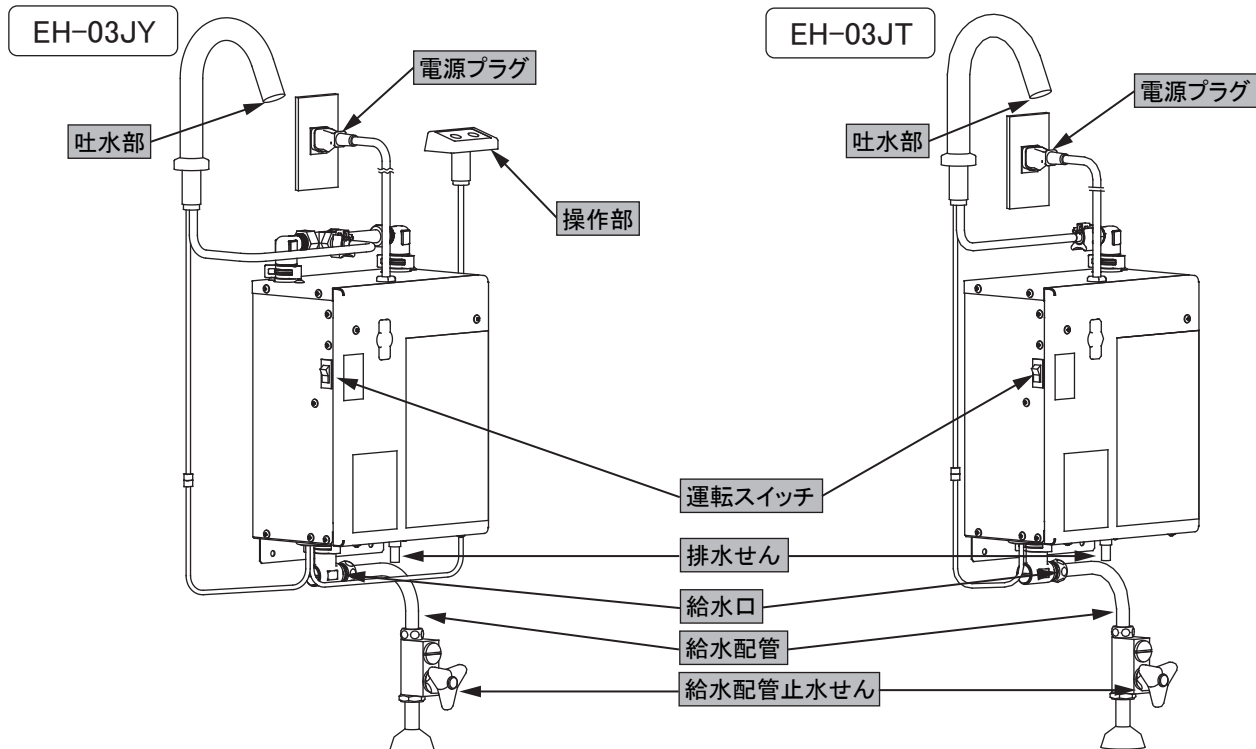
ランプ（湯または水）が点灯している側が出ます。
湯水切替スイッチを押すとランプの点灯が切り替わり、 湯と水が切り替わります。

ご注意
■コンセント接続時や停電復帰後は湯側（初期設定）になります。

日常のお手入れ

長く快適にご使用いただくためには、日頃のお手入れが必要です。
安全にお手入れしていただくために、ゴム手袋などの着用をおすすめします。

⚠注意

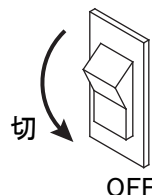
シンナー、アセトン、ベンジン、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類、カビトリ剤、酸性、アルカリ性、塩素系の洗剤類は機器の変色や変形の原因となりますので、使わないでください。
金たわし、みがき粉等は外観キズが入るおそれがありますので、使わないでください。

配管の確認（日常）

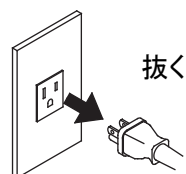
配管の保温材破損や水漏れなどがないか確認します。
マンションなどの中・高層住宅で水漏れが起きた場合、階下に被害を及ぼすことがあります。

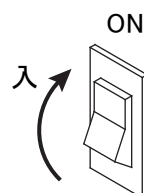
電源プラグの清掃（1か月に1回）

⚠警告

電源プラグは濡れた手で触らないでください。感電の原因になります。

1. 運転スイッチを「OFF（切）」にします。

2. 電源プラグをコンセントから抜き、電源プラグやコンセントに付いたホコリを取り除きます。

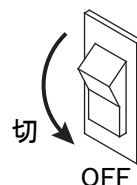
ON
入

3. 電源プラグをコンセントに差し込み、運転スイッチを「ON（入）」にします。

メンテナンス

日常のお手入れ

吐水部本体の清掃（日常）

軽い汚れの場合、 やわらかい布やスポンジで水洗いしてから、
乾いた布でふき取ります。
ひどい汚れの場合、 中性洗剤をぬるま湯でうすめて、 やわらかい布で
汚れをふき取ってから、 乾いた布でからぶきします。

給水配管止水せんのストレーナ、給水口のストレーナの清掃
（湯や水の出が悪くなった場合）

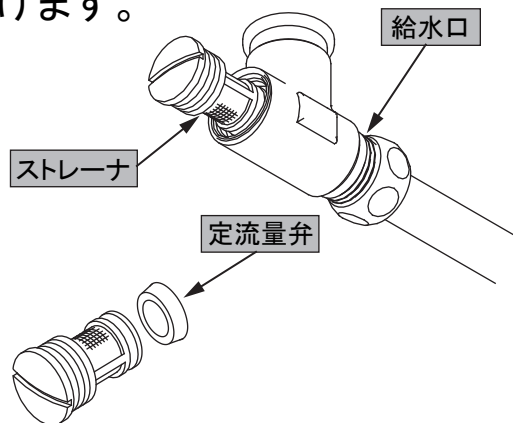
1. 運転スイッチを「OFF（切）」にします。

2. 給水配管止水せんを閉め、 吐水部センサーの下へ手をかざします。
お湯（水）が出てこなくなるのを確認したら、
電源プラグをコンセントから抜きます。

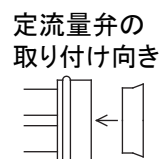
抜く

3. 給水配管止水せんのストレーナをはずし、
ストレーナについたゴミを取り除きます。
※ストレーナをはずすと配管内の残水が出てきますので、 洗面器などで受けてください。

4. 給水配管止水せんのストレーナを取り付けます。

5. 給水口のストレーナをコイン等を利用し、
反時計回りに回し、 取りはずします。
※ストレーナをはずすと配管内の残水が出てきますので、
洗面器などで受けてください。

6. ストレーナの先端に付いている定流量弁
を取りはずします。

7. ストレーナ、 定流量弁についたゴミを取り除きます。

8. 定流量弁をストレーナの先端に取り付けます。
※定流量弁の取り付け向きには注意してください。

9. ストレーナを元通りに取り付けます。

10. P8「ご使用前の準備」の項にしたがって、 温水器への給水を
行い、 再びご使用ください。

吐水口金具のストレーナの清掃（湯や水の出が悪くなった場合）

吐水口金具のストレーナにゴミがつまると、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、定期的に清掃してください。

1. 運転スイッチを「OFF（切）」にします。

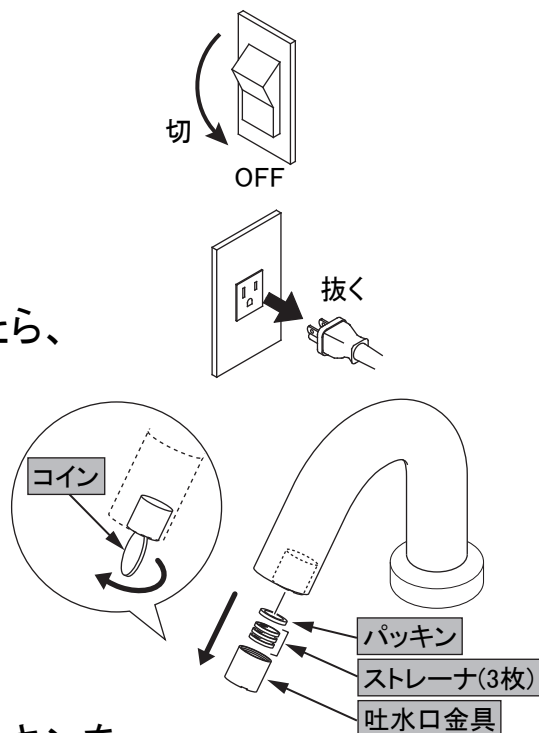
切
OFF

2. 給水配管止水せんを閉め、 吐水部センサーの下へ手をかざします。
お湯（水）が出てこなくなるのを確認したら、電源プラグをコンセントから抜きます。

抜く

3. 吐水口金具をコイン等を利用し、下から見て反時計回りに回しストレーナ（3 枚）をはずします。
4. ゴミ、 水アカなどを洗い流します。

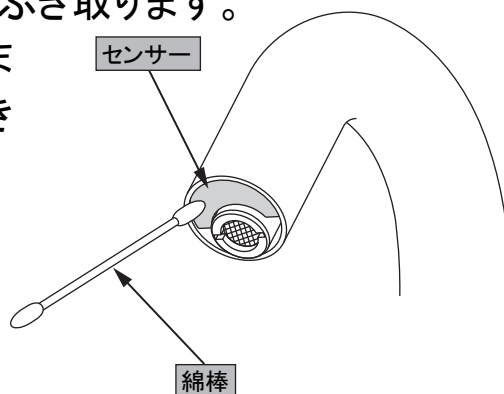
コイン
パッキン
ストレーナ(3枚)
吐水口金具

5. 吐水口金具、 ストレーナ（3 枚）、 パッキンを元通りに取り付けます。
6. P8「ご使用前の準備」の項にしたがって、 温水器への給水を行い、 再びご使用ください。

吐水部センサーの清掃（半年に1回程度）

センサーの表面に水アカなどが付着すると感知しにくくなりますので、定期的に清掃してください。

ご注意

■たわし、歯ブラシ等はセンサー表面にキズが入るおそれがありますので使用しないでください。

1. 給水配管止水せんを閉めます。
2. 水またはぬるま湯に浸した綿棒で汚れをふき取ります。
ひどい汚れの場合は、 中性洗剤をぬるま湯でうすめたものを綿棒に浸し汚れをふき取った後、 水拭きしてください。
3. 給水配管止水せんを開きます。

日常のお手入れ

操作部表面の清掃（日常）

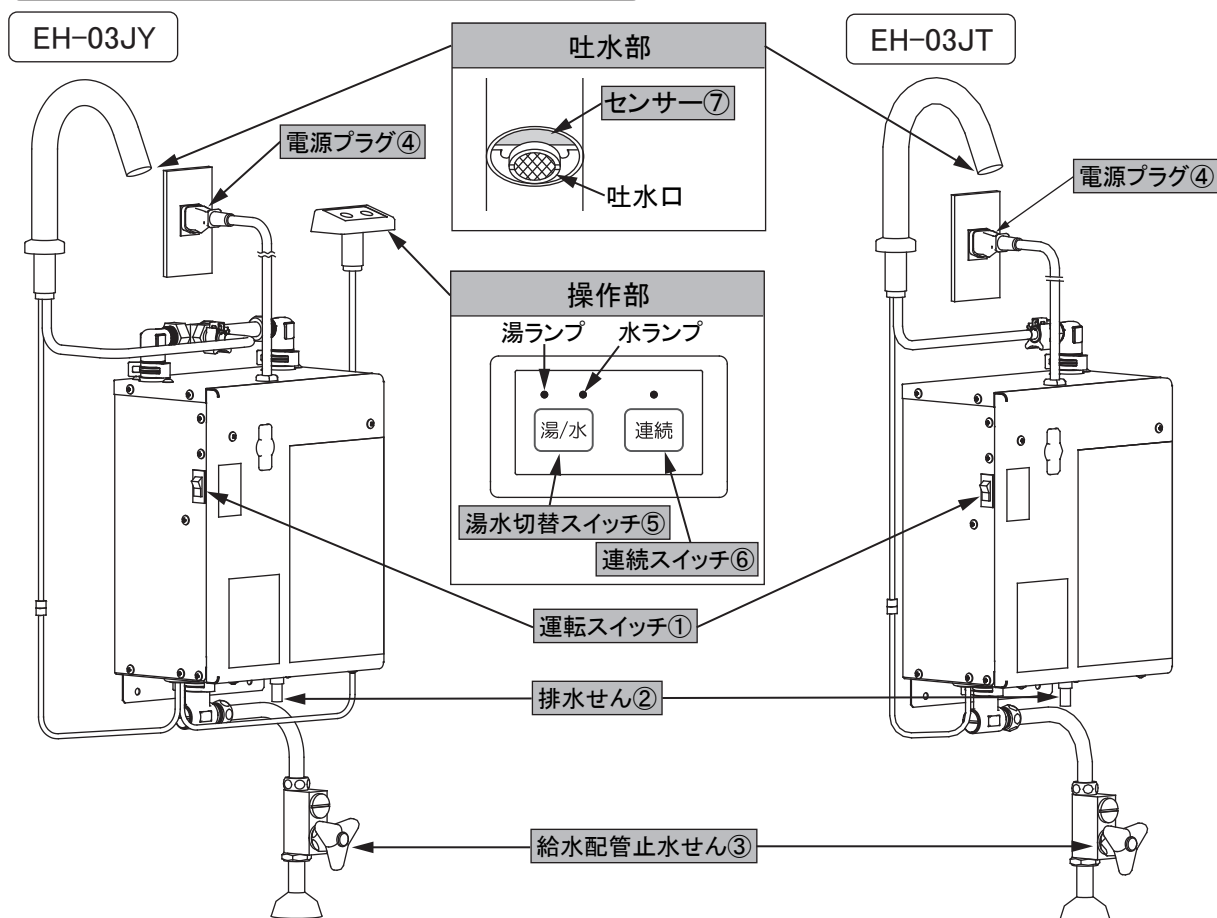
表面が汚れた時は、 水に濡らした
やわらかな布をかたく絞り、
軽くふき取ってください。

ご注意

○洗剤およびシンナー、ベンジンなどは
使用しないでください。

タンク内の清掃（1年に2～3回）

温水器の排水、給水を行い、汚れを流し出します。

1. 清掃準備（温水器の排水）

1 運転スイッチ①を「OFF（切）」にします。

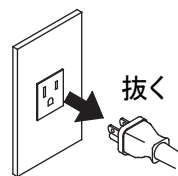
2 温水器のお湯を使い切ります。

（EH−03JY の場合）湯ランプが点灯した状態（**湯水切替スイッチ⑤**を押すごとに湯ランプと水ランプが交互に点灯します。）で、 吐水口からのお湯が水に変わるまで、 **連続スイッチ⑥**を 1 分毎に押してください。 1 分間吐水状態が続くと自動的に止水します。

（EH−03JT の場合）吐水口からのお湯が水に変わるまで、 吐水部にある**センサー⑦**の下に、 繰り返し手をかざしてください。 1 分間吐水状態が続くと自動的に止水します。

⚠警告
タンクにお湯が残ったまま排水すると、 やけどをするおそれがあります。 必ず吐水口からのお湯が水になるまで使ってから排水してください。

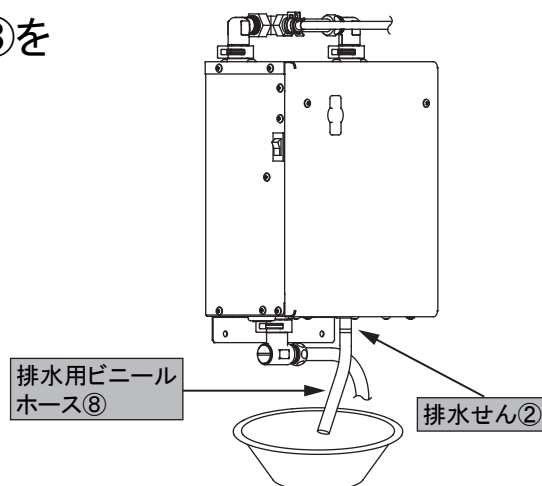
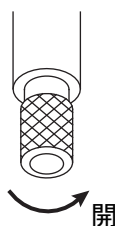
3 給水配管止水せん③を閉め、吐水部センサー⑦の下へ手をかざします。水が出てこなくなるのを確認したら、電源プラグ④をコンセントから抜きます。

抜く

4 温水器付属の排水用ビニールホース⑧を排水せん②に取り付けます。

ホースの先を洗面器などで受けてください。

5 排水せん②を下から見て反時計回りに回し、全開にします。

排水せんより排水が始まります。

開

2. 清掃

1 P14「1.清掃準備（温水器の排水）」の項にしたがって、温水器内の水を排水します。

2 P8「ご使用前の準備」の項にしたがって、温水器への給水を行います。

3 排水がきれいになるまで ① と ② を繰り返します。

4 排水がきれいになったら、② を行って、再びご使用ください。

使用しないときは

長期不使用時（温水器を1か月以上使用しないとき）

水漏れの防止とタンク内の水を清潔に保つために水抜きをしてください。

1 P14「タンク内の清掃」の「1. 清掃準備（温水器の排水）」の項にしたがって、温水器内の水を排水します。

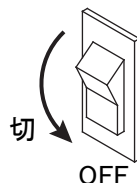
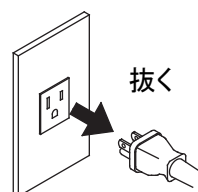
2 排水せん②からの排水が止まったことを確認し、排水せん②を閉めます。

再びご使用になるときは ➡ P8 ご使用前の準備

使用しないときは

短期不使用時（温水器を1か月未満で使用しないとき）

運転スイッチ及び、給水配管止水せんの位置は、P14「タンク内の清掃」の項の「1.清掃準備（温水器の排水）」の図を参考にしてください。

温水器の運転スイッチ①を
「OFF （ 切 ）」にします。

2 給水配管止水せん③を閉め、 吐水部センサー⑦の下へ手をかざします。
水が出てこなくなるのを確認したら、
電源プラグ④をコンセントから抜きます。

⚠ 警告
電源プラグは濡れた手で触らないでください。 感電の原因になります。

再びご使用になるときは、 タンク内の水を入れ替えてからご使用ください。

停電・断水・水道工事のときは

停電のとき

・給湯、 湯沸しができません。

断水・水道工事のとき

・断水や水道工事のときは、 給水配管止水せんを閉じてください。
・断水や水道工事終了後、 本温水器を接続していない湯水混合せんの水側を開けて、 濁った水が出なくなったのを確認してから給水配管止水せんを開けてください。

ご注意
濁った水が温水器内に入ると、 温水器給水口のストレーナや給水配管止水せんのストレーナ、 吐水口のストレーナを詰まらせてお湯の出が悪くなったり、 温水器内のお湯を濁らせてしまう場合があります。
また、 故障の原因になります。

凍結による破損について

⚠ 注意
本商品は寒冷地対応ではありません。 電気温水器・水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。 凍結により破損した場合は保証期間内でも有料修理となります。

定期点検のおすすめ（有料）

温水器を長年にわたり安心して快適にご使用いただくためには、 専門技術者による定期点検整備をおすすめします。
定期点検整備は、 温水器本体 ・ 機能部品 ・ 消耗部品などの点検 ・ 交換 ・ 清掃を行います。
電磁弁などは、設置条件・使用条件・特殊環境によって劣化しやすい消耗部品です。定期的な点検が必要です。
長年にわたり（10年程度）使用されている場合は、毎年「定期点検」をお受けください。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後7年です。長年使用されている場合、部品によってはご用意できない場合がありますので、ご容赦願います。

定期点検整備のお申し込みやお問い合わせは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

定期点検整備の主な内容

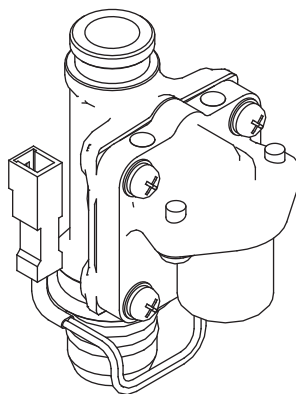
項　目	内　　容
据付状態の点検	配管接続部の水漏れ確認、電気絶縁チェック、設置状態の確認
機能部品の点検	電磁弁の確認、電気部品（配線・導通）動作確認
清掃・整備	タンク下部のスケール沈殿物の排出、ストレーナ（フィルター）の清掃、機能部品の清掃

消耗部品について

電磁弁などは消耗部品です。水質によっては、3年程度で劣化する場合もあります。
点検の結果、部品交換が必要な場合、交換に要する費用は、お客様にご負担いただきます。

電磁弁

水質によっては、電磁弁のダイヤフラム（ゴム製）の弁摺動部にスケールが付着したり、
弁座シート部が磨耗して閉止不良の原因になりますので交換が必要です。

電磁弁

〇その他の消耗部品：パッキン類・その他部品（ヒーター、ミキシングバルブ、定流量弁）

上記消耗部品の交換は当社の純正部品をご使用ください。

よくあるご質問

●運転スイッチが「ON（入）」になっているのにランプが点灯しない
運転スイッチは湯沸し中のみ点灯します。お湯が沸き上がると消灯し、タンク内の湯温が下がると湯沸しを再開し、点灯します。

●温水器本体が熱くなっている
タンクの放熱により、温水器本体が熱くなります。故障ではありません。

●吐水口よりお湯がポトポト出てくる
湯沸し中（運転スイッチ点灯中）に吐水口より水（お湯）がポトポト出てくるのは、故障ではありません。
タンク内の水がお湯になるときの膨張水が吐水口より排出されます。

●お湯から油が出る、お湯が臭い
初めてご使用のとき、お湯や水に油が浮くことがあります。これは、配管工事の際の油が残っているためです。
1 週間くらい使用すると消えて正常になります。

●使用中にお湯がぬるくなる（水になる）
電気温水器はタンク内に貯めたお湯を使用するため、お湯を連続して使用するとお湯がなくなり、水になることがあります。タンク内のお湯がなくなると沸き上げに時間がかかります。（➡ P9 運転（湯沸し）のしかた）
また、給湯開始直後は湯温が安定しないことがあります。

●吐水時に、お湯の温度が一瞬高くなる、または高くなる場合がある
内蔵しているミキシングバルブの温度調整に若干時間がかかったり、湯沸し時に配管内の残水があたためられて吐水されたためです。
また、給湯開始直後は湯温が安定しないことがあります。

故障・異常の見分けかたと処置方法

故障かな？と思ったら

こんなとき	原　因	処置と確認内容
お湯が出ない お湯の出が悪い	断水している	水道局にお問い合わせください （断水が終わるまでお待ちください）
	停電している	電力会社にお問い合わせください （停電が終わるまでお待ちください）
	給水配管止水せんが閉まっている	給水配管止水せんを開いてください
	分電盤などの漏電しゃ断器、温水器用の電源ブレーカーが「OFF(切)」になっている	「OFF(切)」になっているときは「ON(入)」にしてください ※2、3度続く場合は故障のおそれがありますので、販売店にご相談ください
	電源プラグが完全に差し込まれていない	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください
	湯水切替スイッチが水側になっている（EH-03JYの場合）	湯水切替スイッチを湯側へ切り替えてください
	吐水部センサーの前に障害物がある	障害物を取り除いてください
	吐水部センサーの表面が汚れている 吐水部センサーの表面に水滴がついている	きれいにふいてください（➡ P13）
	温水器給水口のストレーナが目詰まりしている	ストレーナを清掃してください（➡ P12,13）
	給水配管止水せんのストレーナが目詰まりしている	
	吐水口金具のストレーナが目詰まりしている	
	空だきして安全装置（温度過昇防止器）が動作している	販売店に連絡してください
お湯が沸かない	運転スイッチが「OFF（切）」になっている	「OFF(切)」になっているときは「ON(入)」にしてください
お湯が不足する お湯がぬるい	湯沸し中（運転スイッチが点灯中）	お湯が沸くまでお待ちください
	配管などから水が漏れている	販売店にご相談ください
床が濡れる 水が漏れる	給水配管が結露している	販売店にご相談ください
	配管などから水が漏れている	給水配管止水せんを閉め、運転スイッチを「OFF（切）」にし、電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください
吐水口から水（湯）が止まらない（垂れる）	湯沸し時の膨張水が吐水口より排出されます	故障ではありません
	吐水部センサーの表面が汚れている	きれいに拭いてください（➡ P13）
	吐水部センサー前に障害物がある	障害物を取り除いてください
	センサーランプが点滅している	電源プラグを抜いて、再接続する

仕様

【電気温水器】

品番（機種名）		EH-03JY	EH-03JT
設置区分		屋内設置用	
タンク容量		約3L	
定格	電源	AC 100V 50/60Hz	
	ヒーター消費電力	600W	
外形寸法（スイッチ、接続口等の突起部除く）	高さ	291mm	
	幅	232mm	
	奥行き	145mm	
質量	本体	5.9kg	5.2kg
	満水時	8.6kg	7.9kg
給水方式		元止め式	
最高使用圧力（静止圧）		750kPa	
最低必要圧力（流動圧）		50kPa	
沸き上げ温度		約75℃	
給湯温度		約36℃（※1）	
吐水流量		約3L/分（約3L/分定流量弁内蔵）	
接続口径	給水接続口	G1/2ねじ（15A）	
	出水接続口	G1/2ねじ（15A）	―
	出湯接続口	G1/2ねじ（15A）	
自動温度調節器		バイメタル式	
電源プラグ（電源コード）		接地極付電源プラグ（約0.9m）	
使用可能雰囲気温度		1℃～40℃	
安全装置		温度過昇防止器、アース端子（接地極付電源プラグ）	

※1：出湯初期に瞬間的に温度が変化する場合があります。

【専用吐水部】

使用電源		AC100V 50/60Hz
消費電力	待機時	0.2W以下
	使用時	5.5W以下
使用流体		1～40℃の上水道水（氷結、ゴミ等の混入がないこと）
使用環境		温度1～40℃ 湿度90％以下
給水圧力	最高使用圧力	750kPa（静水圧）
	最低使用圧力	50kPa（流水圧）
感知距離		学習方式による感知距離変化型 （セットアップされる洗面により自動で感知距離を設定します）

保 証 書

お客様	お名前　　　　　　　　　　　　　　　　様	
	ご住所　〒	
	TEL　　　　(　　　　)	
販売店	印	
	TEL　　　　(　　　　)	
お買い上げ日	年　　月　　日	

見本

品名	小型 電気温水器	専用吐水部
品番	EH-03JY EH-03JT	EH03J 吐水 パイプユニット
保証期間	お買い上げ日から 1 年間	

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書による正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買い上げ販売店またはお客様相談窓口に出張修理をご依頼のうえ、修理の際は、本書をご提示ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店または修理受付フリーダイヤルへご相談ください。
3. 保証期間中でも次の場合には有料修理になります。
   (1) 一般的な洗面器以外（例えば車両、船舶への搭載など）で使用された場合の故障および損傷
   (2) 使用上の誤り、維持管理の不備および不当な修理や改造による故障および損傷
   (3) メーカーが定める工事説明書に基づかない設置、専門業者以外による移動、分解等に起因する不具合
   (4) お取り付け後の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
   (5) 弊社指定の純正部品を使用せず、これが原因となる故障および損傷
   (6) 塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う外観上の現象
   (7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性空気環境に起因する不具合
   (8) ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
   (9) 火災、爆発事故、落雷、地震、洪水、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による不具合
   (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
   (11) 異常電圧（ノイズなど）、指定外の使用電圧（電圧、周波数）などによる故障および破損
   (12) 給水・給湯配管の錆や、砂、ゴミ等異物流入による不具合。
   (13) 温泉水、井戸水などで水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水の使用や異常水圧に起因する不具合
   (14) 凍結に起因する不具合
   (15) 本書の提示がない場合
   (16) 本書にお客様名、販売店名、お買い上げ日の記入がない場合、あるいは字句を書きかえられた場合
   (17) 離島または離島に準じる遠隔地へ修理を行う場合の出張に要する実費
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。（ This warranty is valid only in Japan. ）
5. ご転居の場合は、事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
6. ご贈答品などで、本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合は、修理受付フリーダイヤルへご相談ください。
7. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理受付フリーダイヤルへお問い合わせください。

タカラスタンダード株式会社
本社　〒536-8536 大阪市城東区鴫野東１丁目２番１号
0120－557－910

アフターサービス

【サービス（点検・修理）を依頼される前に】

よくあるご質問（ ➡ P18）の項と故障・異常の見分け方と処置方法（ ➡ P19）の項をもう一度ご確認ください。確認の上でそれでも不具合のある場合あるいは不明な場合は、ご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店または下記フリーダイヤルへご連絡ください。

【保証について】

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

・保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
・保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の内容をよくご確認ください。

【補修用性能部品の保有期間について】

・この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後 7 年です。
・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

【故障・修理の際の連絡先】

・保証期間経過後、修理を依頼されるときは、まずお買い上げの販売店に相談してください。
　修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
・アフターサービスのご依頼や不明な点のお問い合わせは、お買い上げの販売店へご連絡ください。
　また、販売店連絡先がおわかりにならない場合は、下記フリーダイヤルにご連絡ください。

0120－557－910　受付時間9:00～18:00（土日祝、夏期・年末年始休業日を除く）

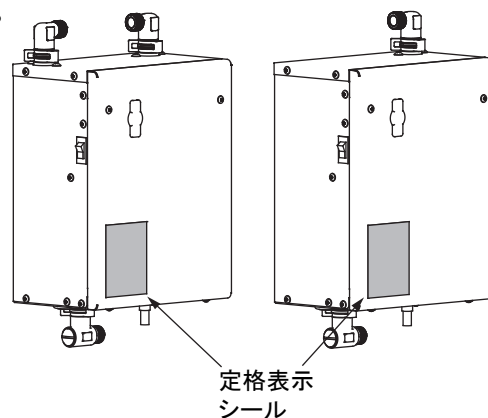
※PHS・携帯電話・IP電話等で一部通話ができない場合があります。

【修理を依頼される際のお願い】

アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。
（1）製品名、品番、製造番号（定格表示シールに記載）
（2）異常の状況
（3）ご購入年月日
（4）お名前、ご住所、お電話番号

【修理料金のしくみ】

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

タカラスタンダードお客様サポートサイト　http://www.takara-standard.co.jp/support/index.html

インターネットでの修理のご依頼も可能です。
<修理のご依頼>　修理のご依頼をインターネットより受け付けております。修理受付後、弊社修理窓口よりお電話でご連絡させていただきます。
<よくあるご質問>　お客様よりお問い合わせいただくことの多い質問をまとめています。修理やお問い合わせの前に参考にしてください。

※お客様の個人情報について
個人情報保護に関する法令を厳守し、個人情報保護に関する基本方針を定め、関係会社を含めた全社に徹底を図っております。詳細はタカラスタンダードホームページをご覧ください。

【廃棄について】

この商品を廃棄する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

愛情点検 ※ 長年ご使用の電気温水器の点検を！

こんな症状はありませんか	・設置場所が濡れている。 ・お湯がぬるい。 ・お湯が熱い。 ・湯沸し中以外に吐水口から水が漏れる。 ・その他の異常、故障がある。

ご使用中止	事故防止のため、電源プラグを抜き、給水配管止水せんを閉めてから販売店（据付工事店）または、修理受付フリーダイヤルに点検・修理（有料）をご相談ください。

タカラスタンダード株式会社
本社　〒536-8536 大阪市城東区鴫野東 1 丁目 2 番 1 号

11416844
15D-1
EH03J 取説